

「日立ハイテクサイエンスの森」(静岡県駿東郡小山町)は、日立ハイテクグループの小山事業所内にある緑地です。約 4.4 ヘクタールにわたる敷地を「里山」として再生することを目標とし、既存人工林の広葉樹林化や既存草地の半自然草地化といった取り組みを通じて、生物多様性を向上させることを目指しています。

評価されたポイントは以下の通りです。

人工林を自然の林に

敷地内のクヌギ、コナラ等から育てた苗を用いて、スギ・ヒノキの人工林を広葉樹林へ転換する大規模な広葉樹林化を進めています。広葉樹の苗木は全体として計画通りに管理育成されていることが確認されており、里山再生への着実な進展が見られています。

在来種の草はらづくり

芝生地の一部では、多様な在来の野草が自生する「半自然草地」への転換を進めています。植生を豊かにするため、ススキの株移植や適切な草刈りといった管理を継続的に実施しています。また、地域の生態系保全のため、敷地内で確認された外来種の除去・管理にも継続的に取り組んでいます。



スギ・ヒノキの人工林から
クヌギ・コナラ等の広葉樹林への転換



ススキを中心とした半自然草地